

5.さいごに

この「防犯まちづくり計画」作成における検討や意見交換を通じ、今まで行ってきた自主的な取組みの連携を深めていくことの重要性が再認識されました。今後は、この提案内容を礎に、それぞれの活動状況や具体的な課題を確認・検討しつつ、適宜新たな取組みを取り入れながら、継続的に地区のまちづくりに取り組んでいきたいと思えます。

この計画作成の取組みについては、地区内外への情報発信や他地区との情報交換を図り、防犯まちづくりの軸をさらに広げてまいりたいと考えております。取組みの検討成果が整理され、広く市民へ発信されることで、防犯まちづくりの担い手である地域と市川市との連携が深まるとともに、地域や学校区が主体となった自主的な計画づくりが普及することを願っております。